

試験結果報告書

試験日	2025年 3月 12日	
試験実施場所	公的な第三者機関	
実施した試験項目	ヨセポンチに打撃を加えた際に発生する音の調査	
試験方法	試験規格・基準名	JIS Z 8737-2 (ISO11202)
	主な試験装置	防音シールド室、騒音分析装置
	試験方法の概要	製品本体より直線距離で1メートル、垂直方向に1.55メートルの位置にマイクを置き集音。
付記事項	本試験結果は、試験サンプルに対しての評価であり、製品型式やロット全体の品質の評価ではありません。	

試験結果

確認内容	ヨセポンチ下部に緩衝材を置き、1.8Kg両口ハンマーで打撃を加えた。A氏・B氏・C氏の3名が個人的感覚ではあるが同様の力加減で打撃を加えた場合の数値を測定した。
使用したヨセポンチ (※樁モデル自社商品)	削出し総磨きヨセポンチ 6分 (4969539230325) ◎ 静音ヨセポンチ 6分 (4969539230097)

	1回目	周波数帯域	2回目	周波数帯域
A氏(男性)				
削出しヨセポンチ	88dB	6300~10000Hz	89.5dB	6300~10000Hz
◎ 静音ヨセポンチ	74dB	400~630Hz	77.1dB	500~800Hz
B氏(男性)				
削出しヨセポンチ	88.7dB	6300~10000Hz	89.3dB	6300~10000Hz
◎ 静音ヨセポンチ	79.9dB	500~800Hz	76.1dB	1000~1600Hz
C氏(男性)				
削出しヨセポンチ	89.1dB	6300~10000Hz	92.3dB	8000~12500Hz
◎ 静音ヨセポンチ	73.3dB	630~1000Hz	79.1dB	800~1250Hz

削出しヨセポンチ (打撃6回平均値) 89.4dB

静音ヨセポンチ (打撃6回平均値) 76.6dB

軽減した平均dB 12.8dB

※85dBの音を8時間聞くことは労災認定となるレベル

【補足】

一般的に70dB~80dBの音量で人は『うるさい』と感じる。音の習性として、同じ大きさの音を出していても周波数が高いと大きく聞こえ、周波数が低いと小さく聞こえる。



株式会社 アイダ

